

いじめは絶対にダメ。だから私は、もしいじめられている人を見たら「大丈夫？」と言う。命は大事、そして親が大切に育ててくれたものだから大切に作る。

いじめはどんな理由があっても、やったらアカンっていうのがよく分かった。自分が悪いと思ってなくても、相手が傷ついてるかも知れないから、いじめはダメだと改めて思った。

前からいじめは絶対にしないと決めていたけど、いじめないと言う気持ちが強くなった。

いじめは自分が思っても、それがいじめと感ずることもあることが分かった。友達に「あの子、変やで」って言われても、それを広めないようにしようと思った。

ちょっとしたことで、いじめは起くるから絶対にいじめはダメ。命は一人にひとつしかないから命は絶対に大切にしないとけない。

もし、すぐ思ったことを友だちに言ってみたら「いじめにつながるかも知れない」。だから、いじめにつながるかを考えてから言う。

いじめはどんな理由があっても許されない。見て見ぬふりをしてもいじめと一緒に。いじめをしていたら、命がやられそうだから、改めていじめは許さない。

周りを見ていじめがあつたら止められるようにしたら、いじめがなくなる。勇気を持つ。

クラスでいじめが起きないように一人一人が相手のことを思いやる。もし、いじめが起こってしまったとしても誰かがいじめを止めて、これ以上ひどくならないようにする。

みんなに優しくする。困っている子がいたら助ける。仲間はずれをされている人を見たら注意する。これらのことを知れました。

いじめられている人を見かけたら、見て見ぬふりをせず「それは違うんじゃない」などの言葉をかけられるようにしようと思った。

一人の言葉で、一人に人生が大きく変わる事。

いじめを起こさないためには、一人に全員が何も言わず従うのではなく、個人個人で意見を出すのが必要だと思う。

もし、いじめがあつたら、見て見ぬふりをせず、みんなで止めにいく。この学習で、いじめがどんなにいけないことか？いじめが始まったらどうなるのか？いじめのないクラスがどれだけいいのか？を知れた。

いじめを起こさないように、見ている人や「あの子、変じゃない？」と最初に言われた人が注意する。